

一九二〇年代の都市地域社会における病者と救療  
—大阪府方面委員の保健救療活動を手がかりに—

文学研究科

哲学歴史学専攻 日本史学専修

二〇二〇年度

M19LA002

いのもと ほか

井ノ元 ほか

# 目次

序章	1
はじめに	1
病者と救療をめぐる先行研究	1
本稿の課題	5
主として使用する史料の解説	6
本稿の構成とねらい	7
第一章 近代大阪の「医療環境」	9
はじめに	9
第一節 医師	9
1 「医師の近代化」とそれに関する先行研究	9
2 大阪府における「医師の近代化」―府県・郡市レベル―	11
3 大阪府における「医師の近代化」―学区レベル―	12
小括	15
第二節 医療機関	15
1 近代大阪の救済施設に関する先行研究	16
2 『大阪府統計書』における病院の種目と数	17
3 大阪市立市民病院の設立	18
4 郡部における救療機関不足問題	20
小括	22

第三節	下層社会の病気と医療行動	23
1	病気に罹るということ	23
2	民間療法と受診	31
小括		35
おわりに		36
<b>第二章</b>	<b>近代大阪の救療供給システム</b>	<b>39</b>
はじめに		39
第一節	公費による救助	39
1	恤救規則―国費による救助	39
2	貧民施療規則と窮民救助規則―市費による救助	39
小括		40
第二節	方面委員と医師	41
1	方面委員と大阪市医師会の協定	41
2	「方面医師」	42
3	旧南区所在方面の「方面医師」	43
小括		45
第三節	方面委員と医療機関	45
1	大阪医科大学病院	45
2	日本赤十字社大阪支部病院	46
3	財団法人弘済会救療部大阪慈恵病院	47
4	恩賜財団済生会大阪府病院	49

5	大阪市立市民病院	52
小括		53

おわりに	.....	54
------	-------	----

## 第三章 大阪府方面委員の保健救療活動 ..... 57

はじめに	.....	57
------	-------	----

事例の抽出基準	57
---------	----

取扱事例数とその内訳	58
------------	----

第一節 救療および救済に至る経緯	.....	60
------------------	-------	----

1 対象者側より申出がある場合	60
-----------------	----

2 方面委員が発見する場合	62
---------------	----

3 他方面や他機関から連絡がある場合	63
--------------------	----

小括	65
----	----

第二節 医師へつなぐ救療	.....	66
--------------	-------	----

1 保健救療活動に関与した医師	66
-----------------	----

2 旧南区所在方面の保健救療活動に関与した医師	68
-------------------------	----

小括	69
----	----

第三節 医療機関へつなぐ救療	.....	70
----------------	-------	----

1 大阪医科大学病院	70
------------	----

2 日本赤十字社大阪支部病院	71
----------------	----

3 財団法人弘済会救療部大阪慈恵病院	72
--------------------	----

4 恩賜財団済生会大阪府病院	74
----------------	----

5 大阪市立市民病院 78

6 診療不可あるいは診療拒否 79

第四節 「自立」へつなぐ救済 ..... 82

1 社会的諸関係の活用と再生 82

2 「同情」や「篤志」の利用 89

3 救済を拒む人々 91

小括 93

一九二〇年代の保健救療活動の総合的な評価―むすびにかえて― ..... 94

保健救療活動の方法と特質 94

公費救助制度の変革の提唱 95

方面委員と警察の関係 98

終章 ..... 103

本稿の課題と各章のまとめ 103

保健救療活動と「医療の社会化」 105

本稿が残した課題 106

おわりに 106

史料編 ..... 109

第一章 近代大阪の「医療環境」 111

第二章 近代大阪の救療供給システム 113

第三章 大阪府方面委員の保健救療活動 126

図表編

第一章 近代大阪の「医療環境」 130

第二章 近代大阪の救療供給システム 152

第三章 大阪府方面委員の保健救療活動 168